

# WELL-being

～住まい方を知る、もっと好きになる～

スウェーデンハウスは、上手に使う、きちんと手をかけて暮らしていくことで、  
もっともっと快適な住まいへと成熟します。

そして適切なお手入れは、住宅の資産価値を持続することにもつながります。

「WELL-being」では、スウェーデンハウスならではの暮らしに役立つノウハウをメンテナンスのプロがアドバイス。

お客様とともに、住まいづくりをサポートしてまいります。

maintenance & cleaning ・ 季節のお手入れ

戸外が心地よい季節だから  
「サンデッキ」をリフレッシュ!

## メンテナンスデータ | サンデッキの塗装編

スノコ床は、環境に応じて塗装時期が異なりますので、スウェーデンハウスにお問い合わせください。

### 🏠 時期は...

入居後 **2年以内** 以後、環境に応じて塗装  
※釘浮きなどの点検は、半年～1年に1回が適切

### 🕒 かかる時間は...

およそ **15～20分**/㎡  
(サンデッキ全体を塗装する場合)

### 💰 コストは...

**必要な工具代+道具代+材料費=約¥15,000**  
※キシラデコール以外の塗料もあわせて使用する場合は、金額が異なります。(右写真説明参照)

### 📅 適切な季節は...

AREA	MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道													
東北													
関東・東海													
中部・関西													
九州													

※外部木部の塗り替え作業は、カレンダーで示した時期の快晴の日に行いましょう。

### 🚫 その他

※事前に、ご使用される塗料の容器に書かれた「使用上の注意」をご確認ください。  
※塗装する場合は、長雨が続いたら4～5日おいて、木部を完全に乾燥させてから行ってください。

風薫るこの時期は、一年でもっとも過ごしやすいつきです。天気の良い休日は、サンデッキでランチやティータイムを楽しんではいかがでしょうか。

サンデッキは、日当たりのいい場所に設けているケースが多いだけに、乾燥には気をつけたいところです。過度な乾燥は、劣化の原因になります。美しい木の風合いを保つために、例えばキシラデコールやコンゾランなどの塗料で、定期的に塗装しましょう。特に、キシラデコールをご使用のサンデッキは、早めの塗り替えをおすすめします。

塗装は、2度塗りすると仕上がりが美しいうえ、塗料の効果が長持ちします。2度塗りするときには、1回目の塗装後、半日～1日



### ■ 用具

「キシラデコール」や水性塗料「コンゾラン」は、スウェーデンハウスで販売しています。お手持ちの製本図面で色や種類をご確認のうえ、ご注文ください。このほかに、大小2本の刷毛(30mmと50mm)、毛ぼうき、マスキングテープやマスカ（養生シート付テープ）、100～150番のサンドペーパー、塗料を入れるカップ、ウエス(布切れ)、滑り止め付軍手をご用意ください。また、釘浮きの補修には金槌をご利用ください。

おいて塗料が完全に乾いてから2回目の塗装をしてください。作業できる日が週末だけということであれば、2週に渡って作業しても問題ありません。なお、使い残した塗料は、直射日光が当たらない涼しい場所で保管してください。

## サンデッキの塗装

### Step 4 すのこ床を塗る

まず、30mmの刷毛で板の側面を塗ります。板と板の間に、塗料を付けた刷毛を差し込んでスーッとひとなですればOK。その後、50mmの刷毛ですのこ床の表面を塗ります。



### 松ヤニの処理

松ヤニが出ていたら、塗装作業の前に処理をしましょう。

- 乾いている状態  
皮スキで軽くこするように削り取ります。
- べたつく状態  
工業用アルコールを含ませたウエスで拭き取ります。



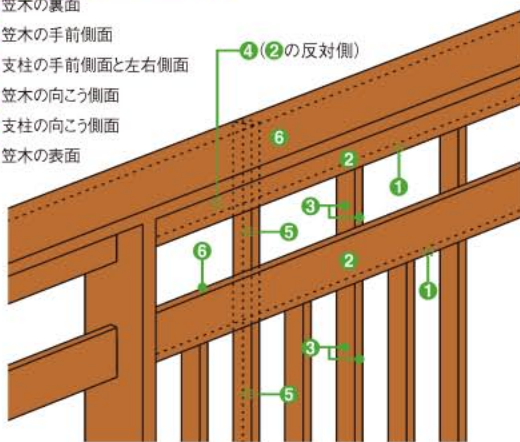
※「工業用(燃料)アルコール」は大型DIY店や薬局などで購入できます。なお、店舗によって取り扱いがない場合は「燃料用アルコール」で代用できます。

### Attention

- 使用した刷毛等は、キシラデコールの場合は薄め液で、コンゾランの場合は水で、刷毛の根元までしっかり塗料を洗い落としてください。乾燥させた後、毛先が折れないように箱に入れるか布に包んで保管しましょう。
- 笠木の表面を塗るときは、50mmの刷毛をお使いください。
- 脚立などをご利用になる際は、安全に十分な配慮をしてください。
- 図にある仕様とは異なるなど、塗装作業に不明な点等がありましたら、お手数ですがスウェーデンハウスまでご相談ください。

### 手摺子仕様の場合

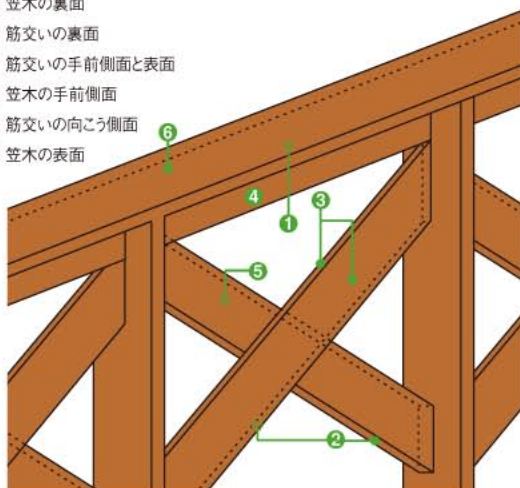
- 1 笠木の裏面
- 2 笠木の手前側面
- 3 支柱の手前側面と左右側面
- 4 笠木の向こう側面
- 5 支柱の向こう側面
- 6 笠木の表面



※2・4・6は1年に1回が適切

### 山荘(クロス)仕様の場合

- 1 笠木の裏面
- 2 筋交いの裏面
- 3 筋交いの手前側面と表面
- 4 笠木の手前側面
- 5 筋交いの向こう側面
- 6 笠木の表面



### Step 1 点検と準備をする

手すり・すのこ床ともに、割れや汚れなどが気になる箇所は、サンドペーパーをかけてから毛ぼうきで払っておきます。ただし、コンゾランなどの塗料の剥がれが激しかったり、木の黒ずみなどが目立つ場合は、専門家による事前処理が必要ですので、スウェーデンハウスまでご相談ください。

### Step 2 養生する

重くて移動させるのが難しいプランターなどは、草花に塗料がかからないよう、マスカで事前に覆っておきましょう。サンデッキが接している外壁も同様に養生します。



### Step 3 手すりを塗る

サンデッキの仕様にかかわらず、塗装作業は、「上から」「細かい部分から」「塗りにくい場所から」が基本です。まず手すりは、30mmの刷毛で、笠木の裏面、外壁と接している箇所から塗り始めます。続く作業は、左記の図をご参照ください。木部が割れた箇所には塗料を塗りこむようにすれば、腐敗や劣化が進む原因となる雨水の浸透を防げます。

